

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

《試料・情報の利用目的及び利用方法》

●研究の名称

傍憩室乳頭における胆管挿管困難例に対するトラクションバンド付きクリップを用いたトラクションバンド補助下挿管法の評価：傾向スコアマッチング解析

●研究の対象

当院において2018年1月から2026年3月までに傍憩室乳頭に対して胆管挿管を試み、挿管が困難であった133例を対象とします。

●研究の目的

傍憩室乳頭（periampullary diverticulum：PAD）は、内視鏡的逆行性胆管膵管造影（ERCP）における胆管挿管を困難にすることがあります。当科では、そのような症例に対して、2023年2月以降、トラクションバンド付きクリップを用いたトラクションバンド補助下挿管（traction band-assisted cannulation：TRIAS）を行い、手技を容易にする工夫を行っており、その治療成績を評価いたします。

●研究の期間

研究機関の長の実施許可日から2027年3月31日まで

●研究の方法

日常診療時に得られる下記の《利用する試料・情報の項目》について調査します。

《利用する試料・情報の項目》

●試料：なし

●情報：TRIAS法の使用有無、PEP発症率、高度挿管手技の使用有無、手技時間、背景情報（性別、年齢、体重等）など

なお、利用する上記の試料・情報からはお名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報はありません。

《利用を開始する予定日》

研究機関の長の実施許可日

《利用する者の範囲》

●研究機関名および研究責任者名

京都第二赤十字病院 消化器内科 萬代 晃一郎

《試料・情報の管理について責任を有する機関の名称》

京都第二赤十字病院

《試料・情報の利用の停止（受付方法含む）》

患者さん又はその代理の方が、この研究への参加（試料・情報を利用すること）にご協力いただけない場合は、以下の《問い合わせ先》にご連絡ください。研究にご協力されなくても、診療等において不利益を受けることはありません。ただし、ご連絡いただいた時期によっては、解析が完了している、結果が論文などで公表されているなどの理由であなたのデータを取り除くことができない場合がありますことをご了承ください。

《問い合わせ先》

研究機関：京都第二赤十字病院

担当者：消化器内科 萬代 晃一郎

住所：〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355 番地の 5

TEL：075-231-5171（代表）